

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	深夜補導の実施						掲載ページ		
							114		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		32,741	千円	8,597	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	青少年がたむろしそうな深夜営業の店舗、駅周辺、公園などを巡回し、深夜はいかいをしている青少年への声掛けを行い帰宅を促すことにより、事件に巻き込まれたり生活習慣が乱れたりすることを防止し、青少年の健全な生活を確保します。					
<b>活動計画</b>	22時から翌日4時まで、市内全域において、1班3名体制の3班による巡回を、民間警備会社に委託することにより年2回（夏季・冬季）実施します。						
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績（達成率）</b>	→	<b>【活動の状況】</b>	
	声掛け人数 深夜はいかいをしている青少年が事件に巻き込まれたりすることを未然に防ぎつつ、現状を把握・分析し、今後の補導活動に活かす為、深夜はいかい者に声をかけた人数を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） —	591 人	— 人	2,587 人 — %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	（最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価（分析）			
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	25年度は、第1期（7月～9月）と第2期（12月～3月）の2回実施しました。声掛けした人数は増加したものの、多くの人に声を掛け帰宅を促すことにより、事件を未然に防ぐことができたことから順調としました。また、はいかりする青少年の年齢層や時間帯を分析し、今後の補導活動の参考資料としました。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	地域からは、ボランティアではなしえない深夜のパトロールとして、非常に高い評価を得ています。今後も、パトロール体制、パトロール箇所などの見直しを行うことなどにより、効率的な事業運営に努めたいと考えています。民間警備会社に委託し実施することにより、経済性の向上を図っています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
本事業は、地域における安心感の醸成につながるため、平成26年度においても、事業を実施する予定です。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	非行少年の立ち直り支援と体制強化						掲載ページ		
							114		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		495	千円	620	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	子ども総合センター

### 【Plan】計画 →

<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	非行少年の立ち直りと自立を促進するため、子ども総合センターの体制を充実し、学校、警察、地域等と連携して、非行少年及びその家庭への支援を積極的に行います。		<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。
<b>活動計画</b>	非行少年の立ち直りに向け、実務的かつ緊密な行動連携を行うため、関係機関と非行相談会議を定期開催するとともに、教育・福祉的な指導の視点に立った即時的な対応、連携した取り組みを図ります。				

	指標 <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】
<b>活動指標</b>	非行相談対応件数	150 件	単年度目標設定なし	139 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	<small>（最終目標と最終年度）</small> 虞犯行為や触法行為のあった児童及び保護者からの相談への対応や相談内容に応じた適切な支援を行うことが、本事業の内容であることから、活動指数として「非行相談対応件数」を掲げました。			— %		
	<small>（最終目標と最終年度）</small>			順調		
					やや遅れ	順調
					遅れ	

### 【Check】評価（分析）

<b>分析及び課題の整理</b>	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	非行少年の立ち直りに向け、実務的かつ緊密な行動・情報の連携を行うため、関係機関と非行相談連絡会議を毎月開催し、教育・福祉的な指導の視点に立った即時的な対応、連携した取り組みを図ることができました。 22年度に新設された非行相談担当ラインが、地区担当ケースワーカーと連携して、初期対応の段階から技術支援として関わりますが、特に重篤な困難ケースは、非行相談担当ラインが主体的に関わることで、学校、警察、裁判所、児童自立支援施設等の窓口として対応し、これまでより緊密できめ細やかな処遇が可能になりました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	非行相談課長と教育相談課長の兼務、及び非行相談担当係長が相談係長へ変更したことで、より計画的かつ効率的な事業展開を行っていきよう努めます。

### 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

本事業は、施策に対する有効性も高く、青少年の健全育成を図るために、必要な事業です。今後も目標の達成に向けて、「子ども家庭局青少年課」や「教育委員会指導部」、「学校」などの北九州市の組織にとどまらず、「福岡県青少年課」や「福岡県警察少年課」の非行少年対策事業ともタイアップして、非行少年の立ち直り支援と体制強化を図っていきます。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	シンナー等をはじめとした薬物乱用防止に向けた広報・啓発						掲載ページ
							114
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		935 千円	2,891 千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	本市におけるシンナー等乱用少年の検挙補導人員は減少傾向にあるものの、依然として検挙補導者が多いです。一方で、脱法ドラッグの使用が疑われる緊急搬送の増加など、新たな課題も生じており、薬物乱用は、依然として憂慮すべき状況にあります。そこで、薬物乱用の撲滅に向けて、行政と地域が一体となった総合的な対策を推進しています。					
<b>活動計画</b>	「薬物等乱用防止・少年非行防止・非行少年立ち直り支援モデル地区」の指定及び活動と、薬物乱用防止啓発・環境浄化活動の推進に取り組みます。						
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績（達成率）</b>	→	<b>【活動の状況】</b>	
	啓発・環境浄化活動参加者数	16,239 人	16,000 人	20,316 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	薬物等乱用少年の撲滅のため、啓発・環境浄化活動を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 16,000 — 平成26年度			127.0 %			
	（最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ	<b>大変順調</b>	

【Check】評価（分析）		
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析  <b>【経済性】</b> <b>【効率性】</b> の分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  薬物乱用少年の撲滅に向けた啓発・環境浄化活動として、引き続き、薬物乱用防止教室や夜間特別補導、モデル地区事業を実施しました。啓発・環境浄化活動の効果もあり、シンナー乱用撲滅に関する市民意識が向上し、シンナー等乱用少年の検挙補導人員が「ゼロ」となったことから、大変順調と判断しました。  「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  薬物乱用防止教室や出前講演の講師を子ども家庭局の職員や関係機関に依頼することにより、経済的・効果的に実施することができました。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
薬物乱用防止教室を引き続き実施するとともに、脱法ドラッグ等の課題に対処するため、地域単位で啓発やパトロールに取り組むモデル事業を実施する他、街頭ビジョンCM等、視覚的な啓発活動に取り組みます。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	地域会議推進事業							掲載ページ	
								115	
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		2,443	千円	2,310	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	地域ぐるみでの青少年の健全育成・非行防止への取り組みを進めるため、主に中学校単位で、自治会、社会福祉協議会、PTAなどにより組織された地域会議の活動を支援します。					
<b>活動計画</b>	事務経費の支援等を通じて、地域会議の活動を支援します。						
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績（達成率）</b>	→	<b>【活動の状況】</b>	
	地域会議の活動支援			—		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	地域全体で、青少年の健全育成・非行防止への取り組みを進めるため、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） —	—	—		大変順調		
					順調	順調	
					やや遅れ		
					遅れ		

【Check】評価（分析）		
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
	<b>【経済性】</b> <b>【効率性】</b> の分析	地域会議開催経費、事業経費の支援等を実施し、青少年の健全育成・非行防止に寄与することができたので順調としました。 地域会議は、青少年の健全育成を図る上で有意義であり、必要不可欠であると考えています。現状は、活発に活動している団体とそうでない団体との差が見受けられます。  経済性・効率性を高めるため、予算配分の変更・見直しを行うなど、事業費の削減に努めています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
青少年の健全育成を図る上で、地域との連携は必要不可欠であり、今後とも当該事業を推進していく必要があると考えています。 平成26年度も、団体に対する経費の支援等を実施することに加え、当事業の今後のあり方について各区コミュニティ支援課等と検討を行い、地域の実情に合わせた効率的な支援に努めてまいります。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	少年補導委員活動						掲載ページ		
							115		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		3,194	千円	5,125	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	少年補導委員による地域における補導活動や環境浄化活動に努めるとともに、少年非行防止活動についての情報交換を行います。					
<b>活動計画</b>	市少年補導委員連絡協議会に係る会議を定期的に開催します。 少年補導委員に対する研修会を開催（年に2回）します。						
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績（達成率）</b>	→	<b>【活動の状況】</b>	
	補導活動回数	3,453 回	3,930 回	3,882 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	補導活動を行うことで、子どもとの密接な関係を築くことができるため、活動指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 3,930回 — 平成26年度			98.8 %			
	（最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価（分析）			
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	定期的な少年補導委員役員会の開催、また、年2回の研修会を開催するなど、少年補導委員の意欲や能力の向上が図れたことから、順調としました。 また、補導活動の実施により、子どもとの密接な関係を築くことができ、また、少年非行防止活動についての情報交換もできました。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	委嘱された補導委員一人ひとりが、様々な時間帯で活動を行っています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
子どもとの密接な関係を築き、地域住民との連携を図るため、今後も継続して事業を実施します。 また、地域住民との連携は必要不可欠であり、今後も情報交換を図るなど、より積極的な活動を行っていきたくと考えています。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	青少年を取り巻く有害環境に関する懇談会							掲載ページ	
								115	
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	青少年を取り巻く有害環境の現状認識の共有と各団体共通の取組みを協議するため、「北九州市青少年の非行を生まない地域づくり推進本部」の非行対策部会等で意見交換を実施します。					
<b>活動計画</b>	「北九州市青少年の非行を生まない地域づくり推進本部」推進本部及び非行防止対策部会を開催します。						
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績（達成率）</b>	→	<b>【活動の状況】</b>	
	推進本部及び非行防止対策部会の開催数			3 回		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	より多くの関係団体の方々に参加していただき、情報の共有化や各団体の取組の強化を図っていくために、指標として設定しました。 （最終目標と最終年度） —	2 回	2 回	150.0 %	大変順調		
	（最終目標と最終年度）				順調	順調	
	（最終目標と最終年度）				やや遅れ		
	（最終目標と最終年度）				遅れ		

【Check】評価（分析）		
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析  <b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  非行防止に関わる関係団体の参加を得て、青少年の非行実態について共有を図り、具体的な施策について検討を進めることができたことから、順調としました。  「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  関係団体の協力を得て、全市を挙げた体制を実現しました。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
引き続き推進本部、非行防止対策部会で、関係機関との情報共有を図りながら、具体的かつ効果的な施策の検討、実施に取り組みます。



# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	非行防止活動の推進						掲載ページ
							115
コスト	事業費	平成25年度執行額	平成26年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		7,830 千円	10,553 千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	「シンナー等乱用少年の検挙補導者数」及び「刑法犯少年の検挙補導者数」は減少傾向にありますが、不良行為少年の補導件数は高水準で推移しているため、今後も警察等関係機関との連携を強化し、児童生徒の規範意識の育成を図ります。また、保護者や地域住民に対して非行に関する現状や対策等を周知するなど、未然防止や早期解決を図るための取組みを進めています。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	各教室（非行防止教室、薬物乱用防止教室）等を実施します。 「北九州青少年の非行を生まない地域づくり推進本部」非行防止対策部会を通じた関係機関との情報共有、連携を図ります。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	シンナー等乱用少年の検挙補導者数 福岡県のシンナー等乱用少年の検挙補導者数は、他の都道府県と比べて多い状況です。このような現状を踏まえ、青少年を取り巻く有害環境の浄化や規範意識向上のための啓発活動の推進に取り組む必要があります。この成果を図る指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）撲滅 平成26年	10 人	— 人	0 人 — %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	刑法犯少年の検挙補導者数 福岡県の刑法犯少年の非行者率は、全国平均よりも多い状況です。また、本市の刑法犯少年の約7割が初発型非行であり、規範意識が希薄化しています。こうした現状を踏まえ、街頭補導や見守り活動を強化するとともに、立ち直りのための対策が必要であると考えており、その成果を図る指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）減少 平成26年	1,136 人	— 人	977 人 — %	順調 やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	本市では、子ども家庭局と教育委員会が連携した非行防止教室を行っています。また、毎年小中学校及び市立高校等で薬物乱用防止教室などの取組を行っています。その結果、シンナー等乱用少年の検挙補導人員や刑法犯少年の検挙補導者人員については、年々減少する傾向にあり、警察等関係機関と連携した指導や啓発活動の効果が現れています。以上のことから順調としました。
	【経済性】 【効率性】 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	各教室（非行防止教室、薬物乱用防止教室）等には、子ども家庭局からも講師派遣を行うなど低コスト化を図っています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
引き続き、「北九州市青少年の非行を生まない地域づくり推進本部」非行防止対策部会において、関係機関の情報共有、連携強化を図るとともに、各教室（非行防止教室、薬物乱用防止教室）等を実施することにより、規範意識を高め、「刑法犯少年の検挙補導者数」「薬物乱用少年」の減少に努めていきたいと考えています。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

事業名	少年サポートチーム推進事業						掲載ページ		
							115		
コスト	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	教育委員会
		25,138	千円	27,512	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	指導第二課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価				
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	問題行動を起こす児童生徒やその保護者、また被害にあった児童生徒に対し少年サポートチームによる学校訪問及び家庭訪問などを通して支援し、問題行動の未然防止や早期の解決を図ります。				活動実績	市内小学校で安全指導に関するスクールヘルパー研修の開催は増加しています。	
活動計画	少年サポートチームの効率的な運用や北九州少年サポートセンター、子ども総合センターとの情報連携の推進を図りながら、学校訪問及び家庭訪問などを通して支援を行います。							
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)		→	【活動の状況】
	非行防止教室等啓発活動 小・中学校から依頼を受けて、薬物乱用防止教室および非行防止教室を実施します。市内全小学校で安全指導に関するスクールヘルパー研修を実施します。このため、非行防止教室およびスクールヘルパー研修の回数を指標として設定しました。 (最終目標と最終年度)		83 回	110 回	113 回	102.7 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	相談対応等活動 小・中学校や保護者から依頼を受けて、少年サポートチームが相談に応じます。このため、相談件数を指標として設定しました。 (最終目標と最終年度)		221 件	—	265 件		順調 やや遅れ 遅れ	

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	教育委員会の区担当指導主事と連携し、学校の生徒指導体制の援助や、学校や地域の対応だけでは解決が困難で深刻な問題を繰り返す児童生徒やその保護者への対応などにより、児童生徒の態様、学級や学校の荒れが沈静化し、改善されました。以上のことから、「順調」と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	警察官OBと教員OBが相談活動や啓発活動等に精力的に取り組みました。学級や学校の荒れに対する学校からの要請希望も多く、学校や地域の対応だけでは解決が困難で深刻な問題を繰り返す児童生徒やその保護者への対応を行った結果、児童生徒の態様、学級や学校の荒れが沈静化し、改善されました。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
年度当初に、指導主事が帯同してサポートチームとともに学校の荒れの状況といじめの実態把握に努めます。 区担当指導主事による情報交換や非行相談連絡会議等を活用して、北九州少年サポートセンター、子ども総合センター等関係機関と更なる連携推進を図ります。



## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成25年度実績評価）

<b>事業名</b>	非行歴を有する青少年の立直り支援						掲載ページ		
							H25年度新規		
<b>コスト</b>	事業費	平成25年度執行額		平成26年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	子ども家庭局
		8,396	千円	18,079	千円	施策名	青少年の健全育成	担当課	青少年課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価					
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたのか	深夜はいかいを繰り返したり、非行歴を有する青少年の立直りを図り、再犯者率の低下を目指します。				<b>活動実績</b> 7月に「ドロップイン・センター」を開設し、1300人以上に声かけを行ってきました。また、予定していた協力雇用主を対象とした見舞金制度や表彰制度、入札資格審査における加点制度等を創設するとともに、青少年向けの就労支援プログラムの実施方法についても検討を進めたので、大変順調としました			
<b>活動計画</b>	非行歴を有する青少年の立直りを支援するため、小倉中心部において、立直り関係のワンストップ相談窓口機能と居場所機能を提供する北九州市青少年支援拠点「ドロップイン・センター」を運営します。また、協力雇用主を対象とした見舞金制度や表彰制度、市登録業者の入札資格審査における加点制度等の取組を通じて、雇用の受け皿となる協力雇用主の拡大を図るとともに、あわせて、青少年向けの就労支援プログラムを展開します。								
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> <small>（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）</small>	前年度実績	目標	実績 （達成率）	→	【活動の状況】			
	北九州市青少年支援拠点「ドロップイン・センター」の深夜声かけ数	—	—	1,354 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
	ドロップイン・センターが行う深夜パトロールでの青少年等への声かけ件数。 <small>（最終目標と最終年度）</small>	—	—	— %					
	協力雇用主見舞金登録者数	—	—	10 人	順調	大変順調			
協力雇用主見舞金の利用登録者数 <small>（最終目標と最終年度）</small>	—	—	— %	やや遅れ 遅れ					

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	予定していた事業計画は概ね達成することができました。ドロップイン・センターが行う深夜声かけパトロールでは、非行が重篤化している事案について、教育委員会や警察等と情報を共有するなど、迅速な対応を図りました。また、見舞金制度は、非行歴のある青少年を雇用する協力雇用主の負担感軽減につながり、協力雇用主の拡大や就労促進につながるものと考えています。表彰制度や入札資格審査における加点制度等、協力雇用主を対象とする各種取組についても、協力雇用主会を中心に高く評価されており、今後、協力雇用主の拡大に寄与することが期待されます。一方で、協力雇用主は業種に偏りがあり、今後、職種の幅を広げていく取り組みが必要です。
	<b>「経済性」</b> <b>「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	ドロップイン・センターは、地域団体の活動が難しい深夜時間帯に行っているものです。こうした深夜時間帯に対応するため、熱意のあるNPO法人に委託することとしましたが、警備員等によるパトロールよりも経済的で、また、他機関と連携した対応にも一定の実績をあげるなど、コストに十分見合う成果をあげることができました。協力雇用主を対象とした施策についても、制度面の整備を重点的に取り組んだ結果、低コストで、協力雇用主会から高く評価される事業となり、あわせて、そのモチベーションの向上につながったものと考えています。

【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること
ドロップイン・センターについては、重篤化した非行事案もあったことから、今後、関係機関が連携の下、どのような支援が可能なか、検討することとしています。また今後、協力雇用主の登録数だけでなく、業種の拡大にも取り組んでいきます。青少年向けの就労支援プログラムについては、平成25年度の検討を踏まえ、具体的に実施していくこととしています。